



写真: さえずるホオジロ (撮影: 平成29年5月23日)

「ホオジロ」

春を運んでくれるアーティスト

2 月も下旬になると、日中は徐々に暖かい日が増えてきます。朝晩の厳しい寒さから解放されたポカポカしたとても心地よい時間です。

そんなポカポカ陽気につられて活動するのは人間だけではありません。多くの野鳥たちもここぞとばかりに活発になります。えびの高原のアカマツやノリウツギの木の頂点には胸を張って盛んにさえずるホオジロの姿がありました。目立つ場所を選びさえずるため、えびの高原で最も観察しやすい野鳥と言えます。

茶色い体色はスズメのようですが、尾羽が長く、顔の頬が白いことで見分けがつかます。また、頬が白いことが名前の「頬白」となったようです。

秋から冬の間は数羽の群れで地表に落ちている種子などをついばんでいる姿が見られますが、暖かくなるとオスは盛んにさえずりを開始します。えびの高原では、美しい歌声で春を運んでくれる大切なアーティストとなっています。
 (文/えびのエコミュージアムセンター)

ホオジロ
Emberiza cioides

スズメ目ホオジロ科

